

平成28年度 魚沼市道徳部 活動報告

部 長 佐藤 浩一

1 研究主題 道徳の教科化に向けて今何をすべきか

2 研究の概要

平成30年度の「特別の教科 道徳」の全面実施に向け、各校で道徳部員が中心となり積極的に情報発信できるようにするために研修を深める。

3 研究の実際

(1) 第1回道徳部会 4月20日(水)今年度の活動計画の検討

(2) 第2回道徳部会 8月23日(火)講演会とグループワーク(市学習指導センター事業とタイアップ)

○ 堀之内公民館を会場に実施された「市学習指導センター道徳教育研修会」に道徳部員と市内教職員が多数参加した。指導者の南魚沼市立塩沢小学校長 岡村秀康様のご講演「『特別の教科 道徳』の目指すところと今後の準備内容」と「『考える道徳』の授業プランづくり」をテーマにしたワークショップにより、魚沼市全体で道徳の教科化に向けて今何をすべきなのかについて共有が図られた。

(3) 第3回道徳部会 9月20日(火)道徳の示範授業とミニ講演会

○ 須原小学校を会場に新潟市立東山の下小学校(前新潟大学教育学部附属長岡小学校)教諭 大竹直志様を指導者にお迎えして実施した。

5年生児童を対象に「信頼し合える友達」について「泣いた赤鬼」を教材に示範授業をしていただいた。

○ 示範授業後に「道徳の教科化に向けて今すべきこと」をテーマにミニ講演会を実施した。「①なぜ、教科化をするのか、何が変わるのか。②年間指導計画等の修正・見直しのポイント③授業改善に向けて④評価について」具体的にご指導いただいた。



4 成果と課題

(1) 成果

① 第2回、第3回の研修を通して「特別の教科道徳」の実施に向けて「読み取り道徳」から「考え、議論する道徳」への転換を図るための具体的な授業イメージを共有することができた。また、市学習指導センターと連携することで、道徳部員の多忙感を最小限におさえながら、効率的に研修を進めることができた。

② 教科化に向けた年間指導計画等の具体的な準備の仕方について研修を深めることができた。授業観の転換、年間指導計画作成のポイント等、必要な準備についても具体的なイメージをもつことができた。

(2) 課題

① 今後は、「『特別の教科 道徳』の全面実施に向けた自校における組織的な取組の推進」が求められる。道徳部会での研修をもとに各校で取組を進めるとともに、各校の効果的な取組をレポートやファシリテーションによって道徳部会全体として共有し、発信していくことが必要である。

② 道徳の全体計画の作成、発達や特性を踏まえた指導計画の作成、家庭や地域社会との一層の連携等が求められている。円滑な教科化への移行および実施に向け、各校において道徳教育改訂の趣旨などの理解がより一層深まるよう、道徳部会として市教育委員会と連携しながら情報提供していくことが大切である。